

社会福祉法人リデルライトホームでは 「職場風土改革促進事業」に取り組んでいます！

共働き世帯が増加している中、男女を問わず、働きながら子どもを産み育てられ、介護問題にも対応できる雇用環境を整備していくことは、社会経済の活力を維持していく上でも、少子化の流れを変える上でも、とても重要なことです。

私たちは「仕事」と「家庭」が両立しやすい制度を整備することや環境づくりは、スタッフの「やる気」や「働きがい」を引き出し、職場への帰属意識を高め、その結果、職場が活性化し生産性が向上するなど、大きなプラス効果が得られるともものと期待しています。

リデルライトホームでは、2009年度も継続して、職場風土改革を促進することで、職員が不安なく「仕事と家庭」を両立できる環境と職場風土づくりを更に進めてまいります。



<取組内容>

1. 職場風土改革促進事業の取組を法人内外へ公表します。
ホームページや案内掲示板、ゆうかり誌（広報誌）等に掲載します。
2. 管理職への研修
管理職を対象に、両立支援制度の活用について理解を深めます。
3. 両立支援制度のスタッフ職員への周知徹底
両立支援制度について、案内掲示板や新聞等を活用し周知します。
4. 勤務時間等の雇用管理の見直し
看護休暇の有給日数の増加、時間外・深夜業・短時間勤務制度対象年齢引き上げ
5. 従業員の意識啓発
各部署内等で両立支援のための職場風土改革の取組や制度について話し合います。

2009年9月1日

社会福祉法人リデルライトホーム
理事長 小笠原 嘉祐